



1901

1

PROLOGUE

はじめに

本ビジョンの位置づけ

1901年の官営八幡製鐵所操業開始以来、我が国の産業革命発祥の地として20世紀の扉を開いた北九州市・八幡東田地区において、1990年の宇宙テーマパーク「スペースワールド」開業を契機として、新たなまちづくりの歴史が始まりました。

以来、30年余にわたり、官民連携の下、先進的な都市基盤整備や高度な都市機能集積を進め、次世代を担う産業・ビジネス創出に加え、年間2千万人を超える来街者をお迎えするまちに発展してまいりました。

今般、これまでのまちづくりの足跡を振り返ると共に、既存の構想や上位計画なども俯瞰しつつ、私たち自身の手でこれからのまちづくりに取り組んでいくための視座を改めて考える試みとして、本ビジョンを策定することとしました。

今後も新しい時代の要請や多様な人々の声や想いを積み重ねることにより、幾度も生まれ変わり、可能性に富む未来に向けて、今ここに生きる私たちが、一人ひとりの想いや志を実現するために行動しようとするときの灯となるようなビジョンに育てていきたいと思えます。

八幡東田地区（コアゾーン）および前田地区・ファクトリーパーク
を検討対象エリアとしました

